Power On English Communication II Revised シラバス案

外国語

「英語コミュニケーションⅡ」	単位数	4 単位	学科	○○科	学年・学級	第○学年　○組～○組

1. 学習の到達目標

学習の 到達目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。 4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	「Power On English Communication II Revised」（CII 002-902）、 「Power On English Communication II Revised WORKBOOK」（東京書籍）、「Power On English Communication II Revised スタディノート」（東京書籍）

2. 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	学習内容 （教科書の構成）	学習のねらい	考査範囲	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	**Lesson 1** Play Me, I'm Yours	［題材内容］ ストリートピアノについてのテレビレポート ［言語材料］ 助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V［look など］＋C ［言語の働き］ 説明する、報告する、紹介する、発表する	1学期中間考査	［知識］助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V［look など］＋C を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V［look など］＋C などを用いて、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。

【課題・提出物など】
・Lesson 1～4 の課末 Action における Write のライティング（およびワークシート）
・授業用ワークシート
・準拠教材『WORKBOOK』
・準拠教材『スタディノート』

【第 1 学期の評価方法】
① 言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
② Lesson 1～4 Action のパフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
③ 上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
④ Part 確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）